

日本語特殊講義B

科目ナンバー 0A266
総合基礎 自由選択
1単位

鷲尾 晃洋

1. 授業の概要(ねらい)

この授業は、日本語能力試験(JLPT)受験に必要な知識を習得し、N1(またはN2)合格を目指すことを目標とした、留学生向けの科目です。日本語特殊講義Bでは言語知識(漢字・語彙・文法)と読解分野の演習を中心に学習を進めていきます。主に演習形式ですが、問題解法の検討・共有や文章構造の理解を目的としてグループ活動(もしくはペアワーク)を適宜実施します。なお、この授業は総合基礎科目の学修目標1、2(知識・理解)に関連します。

2. 授業の到達目標

学生は、JLPT・N1(またはN2)の読解分野において、合格に必要な日本語能力を身につけ、文章を解釈し問題を解くことができる。(知識・理解)

3. 成績評価の方法および基準

- 1)小テスト(40%) ※授業中またはLMS上で実施します。
- 2)課題提出(30%) ※授業中またはLMS上で解答・解説します。
- 3)期末テスト(30%) ※中間(期末)試験として授業中に実施します。
合格ラインは全体の60%以上です。

4. 教科書・参考文献

教科書

日本語能力試験問題研究会 『日本語能力試験 直前対策N1 文字・語彙・文法』 国書刊行会 ISBN: 978-4336052841 (1,400円+税)

福岡理恵子, 清水知子, 初鹿野あれ, 中村則子, 田代ひとみ 『新完全マスター読解 日本語能力試験N1』 スリーエーネットワーク ISBN: 9784883195718 (1,400円+税)

5. 準備学修の内容

- 1)語彙教材は授業までに覚えるように努め、読解教材は必ず問題を解いた上で授業に臨んでください。
- 2)課題が出された場合は、次の授業までには終わらせておいてください。
- 3)およそ、予習に1時間、課題と復習に2時間を見込んでいます。
- 4)日頃から日本語の新聞や本などで語彙を増やす習慣をつけてください。

6. その他履修上の注意事項

- 1)7月及び12月の試験に向けた対策クラスのため、後半数回の授業を前倒して実施します。日程に関してはLMSの掲示板で必ず確認してください。
- 2)この授業の単位取得後でも再度聴講生として履修できますが、単位は与えません。
- 3)適宜、読解・聴解問題や小テストを課す場合があります。
- 4)授業計画及び期末試験の日程は、受講学生の状況により変更する場合があります。
- 5)日本語特殊講義Aは講義中心、Bは演習と解説中心の内容です。それぞれ独立した内容ですので、どちらか一方だけでも履修可能です。

7. 授業内容

- | | |
|--------|----------------------------|
| 【第1回】 | 言語知識演習と読解の基本①(対比) |
| 【第2回】 | 言語知識演習と読解の基本②(言い換え) |
| 【第3回】 | 言語知識演習と読解の基本③(比喻) |
| 【第4回】 | 言語知識演習と読解の基本④(疑問提示文) |
| 【第5回】 | 言語知識演習と読解の基本⑤(指示語) |
| 【第6回】 | 言語知識演習と読解の基本⑥(穴埋め) |
| 【第7回】 | 言語知識演習と読解の基本⑦(下線) |
| 【第8回】 | 言語知識演習と読解の基本⑧(全体問題) |
| 【第9回】 | 言語知識演習と読解の実践①(情報検索・メール) |
| 【第10回】 | 言語知識演習と読解の実践②(情報検索・お知らせ/表) |
| 【第11回】 | 言語知識演習と読解の実践③(内容理解・中文) |
| 【第12回】 | 言語知識演習と読解の実践④(内容理解・長文) |
| 【第13回】 | 言語知識演習と読解の実践⑤(主張理解・長文) |
| 【第14回】 | 言語知識演習と読解の実践⑥(統合理解・長文) |
| 【第15回】 | 期末テスト |